

「運用しながら取り崩すこと」で、お金を長生きさせる

- 積立投資を行なった後、運用しないで取り崩す場合と運用しながら取り崩す場合とでは、投資成果に大きな差が出ることもあります。

毎月5万円ずつ20年間積立てを行ない、その後毎月20万円ずつ取り崩した場合の残高推移(試算)

購入時手数料3%および信託報酬等の費用年率1.72%(信託報酬1.54%、その他の費用0.18%)相当を控除しています。ただし、税金は考慮していません。
 なお、当運用戦略以外の試算では、費用を考慮していません。

積立はストップ!

- 例えば、運用しないで積立てた1,200万円を毎月20万円ずつ取り崩した場合、5年で残高がゼロになります。

- 一方、当運用戦略の場合、積立終了時の評価額は2,926万円でした。その後、当運用戦略を継続しながら毎月20万円ずつ取り崩した結果、2020年12月末までの取り崩し総額は6,680万円となりましたが、残高は9,625万円と積立終了時の評価額を大きく上回っています。



当運用戦略は当ファンドの実質的な主要投資対象ファンドである「キャピタル・グループ・ニューバースペクティブ・ファンド(LUX)」と同一の運用手法を用いた運用戦略の実績をもとに試算した結果であり、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※当運用戦略はコンポジット(円ベース)の月次リターンを用いて算出。為替ヘッジは行なっていません。
 ※全世界株式は2011年9月末以降はMSCI ACワールド・インデックス(税引後配当再投資、円ベース)、それ以前はMSCIワールド・インデックス(税引後配当再投資、円ベース)の月次リターンを用いて算出。いずれのインデックスも当運用戦略あるいは当ファンドのベンチマークではありません。
 出所: MSCI, キャピタル・グループ